

カンキツ樹におけるシカによる樹皮食害防止と樹皮再生促進法

利用対象；ミカン栽培農家

食 害 防 止 対 策

カンキツ樹の幹に針金または生分解性テープを約 10cm 間隔でらせん状に巻きつけることで、物理的に長期間シカの食害を軽減でき、カンキツ樹の枯死に至るような重大な被害を防止できます。



針金を巻いた様子



生分解性テープを巻いた様子

シカによるカンキツ樹皮の食害面積割合の推移

処理区	1 樹当たりの樹皮食害面積割合 (%)		
	370日後	686日後	925日後
針金	0.3	0.3	0.3
生分解性テープ	2.6	3.0	3.0
無処理	4.6	9.6	10.3

※早生ウンシュウ成木の主幹及び垂主枝における食害面積割合を遠観により調査

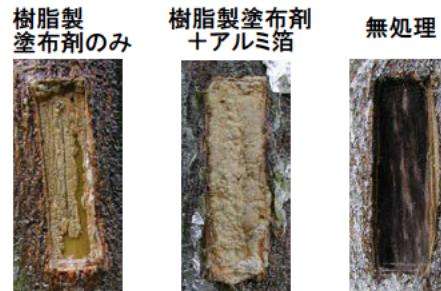
食害後の樹皮再生促進法

シカによる樹皮食害後に樹皮の再生を促進する方法として、被害部分に樹脂製塗布剤を塗ってアルミ箔を被覆することにより、約 3~6 カ月後には樹皮が再生します。なお、樹脂製塗布剤処理は、被害発生後早い方 (1~2 日後) が樹皮の再生が高まります。

樹脂製塗布剤処理105日後の樹皮の再生程度

処理区	樹皮再生面積割合 (%)
樹脂製塗布剤	76.8
樹脂製塗布剤+アルミ箔被覆	97.2
無処理	22.4

※2008年7月25日にカンキツ樹の主幹の樹皮部分を剥皮(7.4cm²:1処理1カ所/樹)し、同日に剥皮部分に上記処理を行い、処理105日後に調査。
樹脂製塗布剤はメイカコートを使用。



処理 105 日後の樹皮再生

樹脂製塗布剤の処理時期別樹皮再生程度

処理時期	再生面積割合 (%)
当日	49.6
2日目	21.5
10日目	15.3
20日目	15.6
無処理	8.1

※2009年8月11日処理



処理 6 か月後の樹皮再生

お問い合わせ先	紀南果樹研究室 市ノ木山浩道、橋本真帆 中央農業改良普及センター 鈴木孝明	電話 05979-2-0008 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm	